

# 鉄道利用者の環境意識調査

(Questionnaire survey for railway users on environmental mind)

## 【目的】

近年、鉄道を含んだ事業者は、自社の環境問題への取り組みを積極的にアピールしています。その際の重点項目などを決定する判断資料を得ることを目的として、普段関心のある環境問題と鉄道事業者に対する環境施策への要求について、鉄道利用者を対象としたインターネットによるアンケート調査を実施しました。

## 【概要】

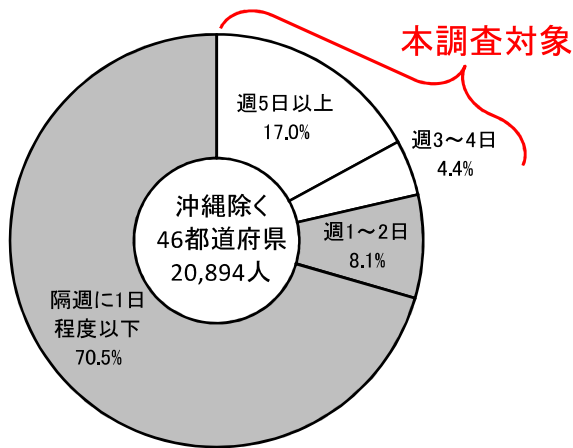
沖縄県を除く46都道府県に住む20歳以上の男女20,894人を対象とした、鉄道利用頻度についてのスクリーニング調査により、週3日以上鉄道を利用する4478人を抽出しました。本調査では、普段関心のある環境問題と鉄道事業者に求める環境施策について3241件の回答を得ました。その結果、地球温暖化や有害化学物質への関心が高く、それに伴って、鉄道事業者へは省エネルギー推進や有害化学物質排出削減の要求が比較的高いことがわかりました。(調査時期:2014年1月)

### 調査結果概要

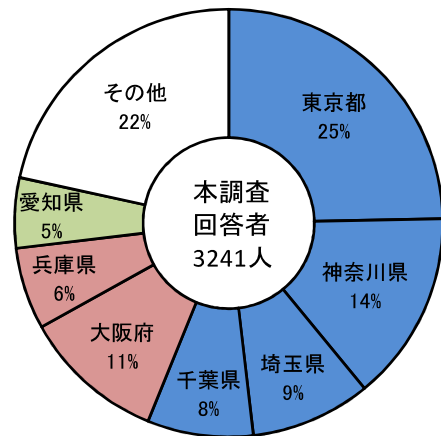
環境問題への関心	高い	地球温暖化 有害化学物質
	低い	騒音・悪臭
鉄道事業者の 環境施策への要求	高い	省エネルギー推進 有害化学物質排出削減
	低い	環境講座の開設

## 【展開】

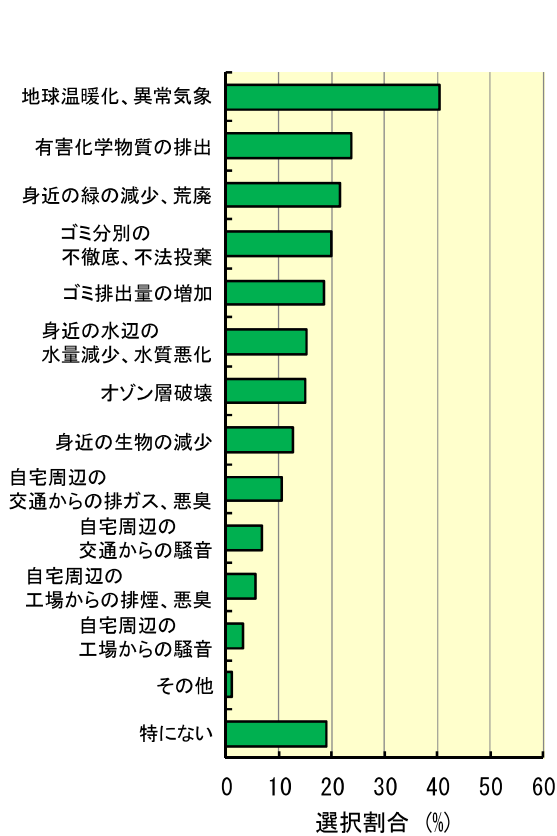
企画室戦略調査課では、環境問題に限らず、安全意識、利便性評価など、国民の意識調査を定期的に行い、鉄道事業へのニーズ把握に努めています。



鉄道利用頻度調査結果

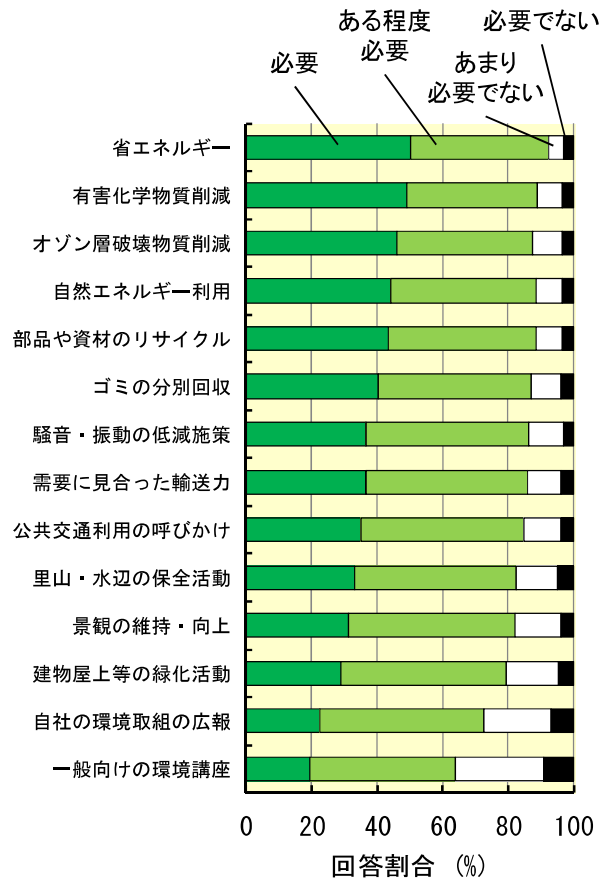


本調査回答者居住県



その他(自由記述): 過半が原子力関係の記述(核、放射能など)

関心のある環境問題  
(3つまでの複数選択)



鉄道事業者に求める環境施策  
(項目は事業者の環境報告書から抽出)

鉄道事業者に求める環境施策(自由記述)  
○冷暖房の適正化    ○沿線、駅、トイレの清掃  
○環境対策より安全対策



公益財団法人鉄道総合技術研究所  
企画室 戦略調査